CASIO

取扱説明書

ウオッチ

5641✻JA

5641

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

本機は、Bluetooth® に対応したスマートフォン等と通信し、時計の時刻を合わせるなどの機能を持っています（モバイルリンク機能）。

1. 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。
   https://world.casio.com/ce/BLE/
2. 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機（株）はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

本機の操作説明（操作ガイド）については、下記ウェブサイトをご覧ください。

https://world.casio.com/manual/wat/

© 2021 CASIO COMPUTER CO., LTD.

MA2403-B

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
⚠ 警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。

⚠ 危険

電池について

ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

⚠ 警告

スクーバダイビングに使用しない

本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

他の電子機器への影響について

病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。

高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。

心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。

満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。

付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

データ保護について

データは、必ずノートなどに控えを取る。

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えます。

ご使用にあたって

時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

－「注意」の続き－

時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

就寝時は時計を外す。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライトが作動する状態で、腕につけて自動車などの運転をしない。

不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

この時計の特長

この時計は、以下の機能を備えています。

◆スマートフォンと通信できます

Bluetooth® 対応のスマートフォンと接続し、通信することができます。

◆内蔵のセンサーで計測ができます

運動距離、消費カロリー、歩数の計測ができます。目標を設定すれば、目標まであとどれぐらいか、おおよその割合をグラフィックで知ることができます。

◆ストップウオッチとして使えます

経過時間を計測できます。また、ラップタイム/スプリットタイムを最大45本まで記録できます。

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間の5秒前から電子音でお知らせします。複数のタイマー時間を繰り返し計測するよう設定すれば、セットトレーニングの時間配分に役立ちます。

◆2つの時刻を表示できます

現在時刻とは別に、海外時計などもう1つの時刻を表示できます。

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

製品仕様

精　　度：スマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能：アナログ部
　時・分(20秒運針)
　デジタル部
　　時・分・秒・月・日・曜日、午前/午後(P)/24時間制表示、フルオートカレンダー(2000～2099年)
　サマータイム設定

ライフログ計測機能：距離
　計測範囲　0.00～9999.99km
　目標距離設定機能
　　距離設定単位　1km
　　距離設定範囲　1～199km
　カロリー
　　計測範囲　0～999,999kcal
　　目標カロリー設定機能
　　カロリー設定単位　10kcal
　　カロリー設定範囲
　　10～60,000kcal

ライフログ計測機能：歩数計
　3軸加速度センサーによる歩数計測
　歩数計測範囲　0～99,999歩
　ステップインジケーター表示
　目標歩数設定機能
　　歩数設定単位　100歩
　　歩数設定範囲
　　1,000～99,900歩
　歩数精度
　　±3%(振動試験機による)
　パワーセービング機能
　ライフログリセット
　　毎日0時に自動リセット
　　手動リセット
　ライフロググラフ
　運動強度表示

ストップウオッチ/データリコール機能：計測単位　1/100秒(1時間未満)
　1秒(1時間以上)
　計測範囲　23時間59分59秒
　計測機能　通常計測、積算計測、ラップタイム/スプリットタイム計測、距離/ペース切り替え表示、自動/手動ラップ機能、自動ラップ報知、計測データを最大45本メモリー

タイマー機能：計測単位　1秒
　計測範囲　60分
　インターバル数　1～5本
　オートリピート数　1～20回
　時間セット単位　1秒
　時間セット範囲　1秒～60分
　予告音5秒間とタイムアップ音で報知
　オートスタート機能

デュアルタイム機能：時・分・秒
　ホームタイムとの時刻入れ替え機能

アラーム機能：時刻アラーム
　アラーム数　5本
　セット単位　時・分
　アラーム報音時間　10秒間
　時報　毎正時に電子音で報知

モバイルリンク機能：Bluetooth®対応機器との無線通信による機能連動*
　* モバイルリンクによって広がる使い勝手
　自動時刻修正機能

モバイルリンク機能：簡単時計設定：
　ワールドタイム
　　世界約300都市(38タイムゾーン、サマータイム自動設定機能付き)+UTC(協定世界時)の時刻表示
　各種時計の設定
　携帯電話探索機能
　距離補正機能
　ライフログデータ管理機能
　　管理データ(距離、カロリー、歩数)
　トレーニングログデータ管理機能
　　管理データ(ラップごとのタイム、距離、ペース、総消費カロリー)
　簡易通知機能(報音のみ)
　　• 時計の画面に件名や本文は表示されません。
　報音連動機能
　サマータイム自動切り替え機能
　　スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
　タイマー設定
　アラーム設定
　針位置補正機能

モバイルリンク機能：通信仕様
　Bluetooth®
　周波数帯域　2400MHz～2480MHz
　最大送信電力　0dBm(1mW)
　通信距離　～2m(環境により変化)

その他：LEDバックライト(オートライト、スーパーイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え(1.5秒/3秒)付き)、操作音オン/オフ、機内モード設定、ユーザープロフィール設定機能、針退避機能、電池切れ予告機能

使用電池：CR2025　1個(電池別途販売)
　電池寿命　約2年
　使用条件：
　　Bluetooth接続時間　10時間/日
　　アラーム　1回(10秒間)/日
　　ライト点灯　1回(1.5秒)/日
　　表示点灯　24時間/日
　　ライフログ計測　12時間/日
　　ストップウオッチ計測
　　3時間/週(1時間/日、3回/週)
　　通知　20回/日

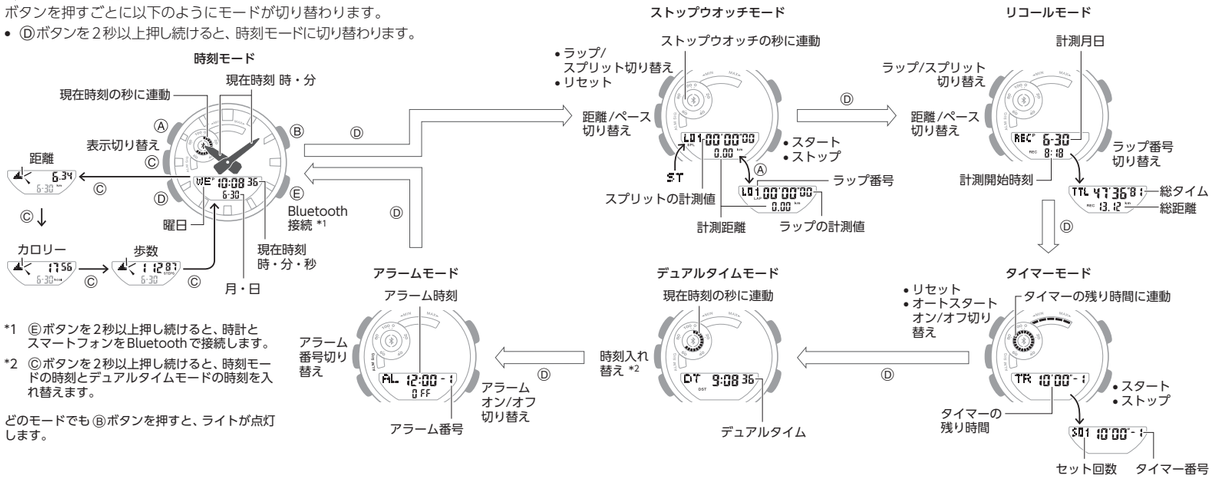
改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

時計の使い方

◆モードを切り替える

ボタンを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。

• Ⓓボタンを2秒以上押し続けると、時刻モードに切り替わります。



*1　Ⓔボタンを2秒以上押し続けると、時計とスマートフォンをBluetoothで接続します。

*2　Ⓒボタンを2秒以上押し続けると、時刻モードの時刻とデュアルタイムモードの時刻を入れ替えます。

どのモードでもⒷボタンを押すと、ライトが点灯します。

◆時刻を設定する

❶ Ⓓボタンを2秒以上押し続けて、時刻モードにします。

❷ Ⓐボタンを押し続け、表示の[SET]の点滅が消え、「秒」が点滅したら指を離します。

❸ Ⓔボタンを押して、「秒」を00にリセットします。

• 30～59秒のときは1分繰り上がります。

❹ Ⓓボタンを押して、「時」を点滅させます。

❺ ⒺまたはⒷボタンを押して、「時」をセットします。

❻ Ⓓボタンを押して、「分」を点滅させます。

❼ ⒺまたはⒷボタンを押して、「分」をセットします。

❽ Ⓓボタンを2回押して、「年」を点滅させます。

❾ ⒺまたはⒷボタンを押して、「年」をセットします。

❿ Ⓓボタンを押して、「月」を点滅させます。

⓫ ⒺまたはⒷボタンを押して、「月」をセットします。

⓬ Ⓓボタンを押して、「日」を点滅させます。

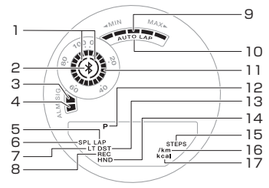
⓭ ⒺまたはⒷボタンを押して、「日」をセットします。

⓮ Ⓐボタンを2回押して、設定を終了します。

本機の操作説明(操作ガイド)については、下記ウェブサイトをご覧ください。

https://world.casio.com/manual/wat/

◆画面の表示について



1. ステップインジケーター表示
2. スマートフォンと接続中
3. 時報をオンに設定済み
4. アラームをオンに設定済み
5. ラップタイムを表示中
6. スプリットタイムを表示中
7. オートライトをオンに設定済み
8. リコールモードで点灯
9. グラフィック表示B
10. オートラップを設定済み
11. グラフィック表示A
12. 午後に点灯(午前は消灯)
13. サマータイム時刻を表示中
14. 針が退避中
15. 歩数表示中
16. 距離表示中
17. カロリー表示中

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	[BAR]表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

• 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
• 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
• 入浴のときに使用すること
• 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
• 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

● 極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

● 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。

● 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。

● スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

● ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。

● 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

● 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。

● ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

● 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■データ保護について

● 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

■センサーについて

● 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

無線に関するご注意

● 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。

● 本機は、工事設計認証を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解および改造すること

● 無線LANは、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。

● 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
- 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
- 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
- 大型金属製家具の近く
- 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
- 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)

● 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

＜以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる＞

● 本機は2.4GHz帯を使用し、変調方式はDS-SS/FH-SS/OFDM方式、DS-FH、FH-OFDM複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約10mです。

2.4 XX1

● 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

● 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。

● 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

● 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。

● 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。

● りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
• 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

● さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

● 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

● 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

● 電池交換の際、防水検査を行います。

● 樹脂(外装)部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

● お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。

● お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

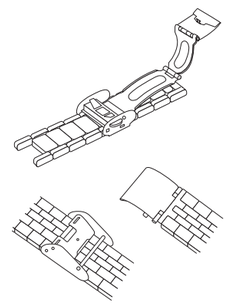
■電池の消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド※を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)